

平成29年第2回定例会（9月議会）  
所管事項審査関係資料

平成29年9月20日  
企画振興部

【所管事項】

総合政策課 平成29年度政策等の評価の実施状況について . . . 1

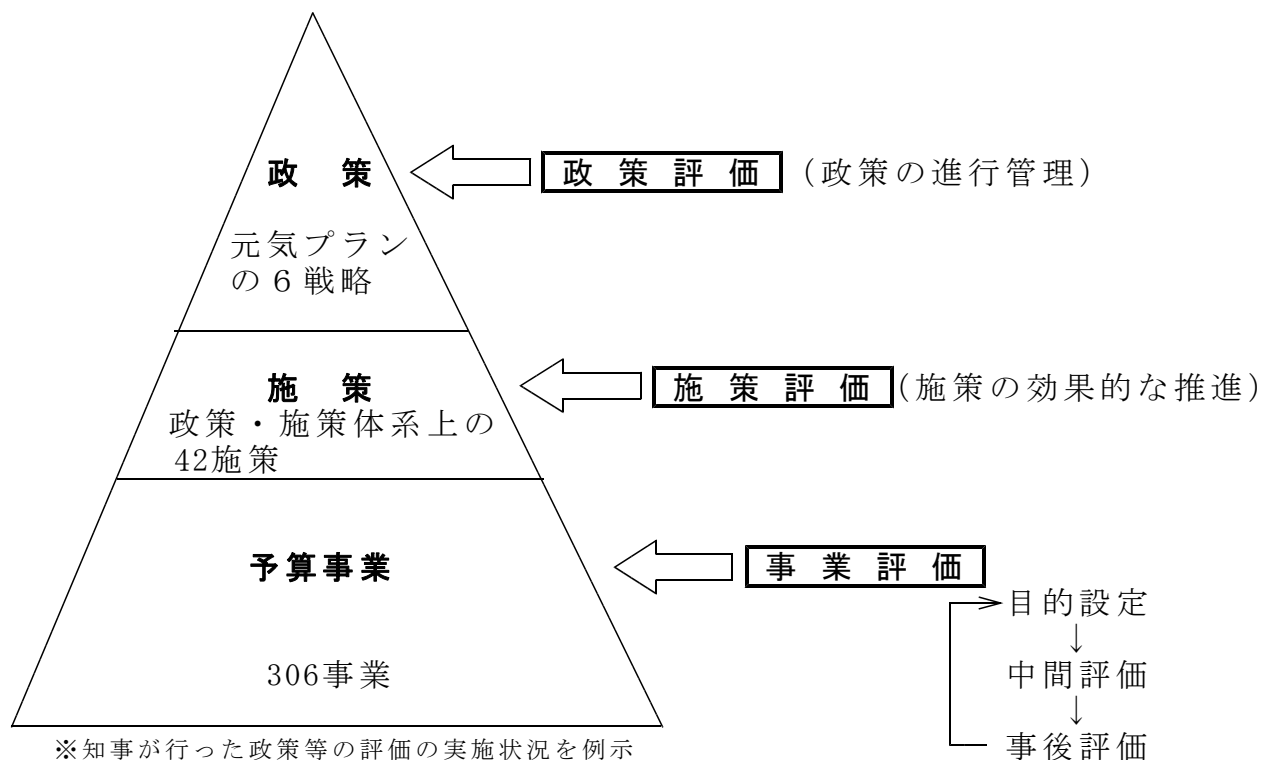


# 平成29年度政策等の評価の実施状況について

総合政策課

各実施機関（知事、教育委員会、公安委員会及び警察本部長）が平成29年度（評価対象：平成28年度）に行った政策等の評価の実施状況は、次のとおりである。

## I 政策等の評価の体系と目的



- 政策等の評価は、目標数値に対する達成度などの評価に加え、目的に応じた事業の展開状況や、それぞれの政策を取り巻く外的要因の変化なども併せて、総合的に判断している。
- 実績の評価に当たっては、原則として平成28年度の数値等を使用している。

## Ⅱ 知事が行った政策等の評価の実施状況等（概要）

### 1 政策評価

（対象：「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の6つの戦略）

#### （1）評価結果別一覧

評価結果	件数	政 策
A	0	
B	6	○産業構造の転換に向けた産業・エネルギー戦略（戦略1） ○国内外に打って出る攻めの農林水産戦略（戦略2） ○未来の交流を創り、支える観光・交通戦略（戦略3） ○元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略（戦略4） ○未来を担う教育・人づくり戦略（戦略5） ○人口減少社会における地域力創造戦略（戦略6）
C	0	
D	0	
計	6	

評価結果区分

A：目標を達成

B：目標を8割以上達成

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

#### （2）評価の概要（戦略別）

戦略	評価の概要
戦略1	○「輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等」、「県内大学生等の県内就職率」は目標には及ばなかったものの、「風力発電設備導入量」は目標を大きく上回り、単年度導入量が3年連続全国1位、累積でも2位となっている。また、平成28年の「秋田港国際コンテナ取扱量」は過去最高を記録するなど、体系下にある施策の推進状況や評価指標などを総合的な観点から評価し、戦略全体として「B」と評価。
戦略2	○「主な園芸作物の販売額」、「黒毛和牛の出荷額」は目標には及ばなかったものの、増加を続けている。また、県産米の食味・品質向上に向けた取組が進められ、「秋田県産米の需要シェア」は向上している。林業関係では、高性能林業機械の導入支援など原木の低コスト生産と安定供給を図ったことにより、「素材生産量」が目標を上回るなど、体系下にある施策の推進状況や評価指標などを総合的な観点から評価し、戦略全体として「B」と評価。
戦略3	○国民文化祭等の大型イベントの終了、北海道新幹線開業の影響等により、「延べ宿泊客数」は前年度と同程度となり目標を下回ったものの、「農産物・加工品の輸出金額」では、日本酒や米を中心に海外輸出に向けた取組も進展しており、目標を上回った。また、日本海沿岸東北自動車道「鷹巣IC～二井田真中IC」間の供用開始など、「県内高速道路の供用率」が目標を達成しているほか、体系下にある施策の推進状況や評価指標などを総合的な観点から評価し、戦略全体として「B」と評価。
戦略4	○「がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率」は目標が未達成となっている。また、「病院の勤務医師数」は、開業等による退職や常勤から非常勤への勤務形態の変更などにより、前年度から減少し目標には及ばなかつ

戦略 5	<p>た。一方で、各種予防啓発活動の推進による「自殺による人口10万人当たり死亡率」は、目標を達成し改善傾向にあるなど、体系下にある施策の推進状況や評価指標などを総合的な観点から評価し、戦略全体として「B」と評価。</p> <p>○「高校生の県内就職率」、「県内高等教育機関の志願倍率」は、目標には及ばなかった。一方で、キャリア教育の充実、少人数学習の拡充等による高い学力の維持により、全国学力学習状況調査において9回連続全国トップレベルの成果を得ている。また、スクールカウンセラー等を活用した悩みや不安を抱えた児童生徒や保護者の相談体制の整備が図られ、小中学生の不登校児童生徒数が全国最少となっているなど、体系下にある施策の推進状況や評価指標などを総合的な観点から評価し、戦略全体として「B」と評価。</p>
戦略 6	<p>○「Aターン就職者数」は目標には及ばず、第2期プラン期間中最少となったものの、Aターン登録者数は前年度から増加している。また、「婚姻数」、「出生数」も目標には及ばなかったが、「合計特殊出生率」は改善傾向にある。「県とNPO、公益法人、企業・大学等との協働件数」も前年度から増加し目標を大きく上回っている。また、「あきた結婚支援センターへの成婚報告者数」も目標を上回っているなど、体系下にある施策の推進状況や評価指標などを総合的な観点から評価し、戦略全体として「B」と評価。</p>

## 2 施策評価

(対象:「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」の政策・施策体系上の42施策)

### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	主な施策
A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新エネルギー立県秋田」の創造と環境・リサイクル産業の拠点化</li> <li>○秋田米を中心とした水田フル活用の推進</li> <li>○県と市町村の協働の推進</li> <li>○安全・安心なまちづくり</li> <li>○科学技術による活力ある地域づくり</li> </ul>
B	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業の経営基盤の強化と地域産業の振興</li> <li>○“オール秋田”で取り組むブランド農業の拡大</li> <li>○ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光の推進</li> <li>○元気で長生きできる健康づくりの推進</li> <li>○グローバル社会で活躍できる人材の育成</li> <li>○官民一体となった少子化対策の推進</li> <li>○健全な県土保全の推進</li> <li>○環境保全と循環型・低炭素社会の形成</li> <li>○子ども・若者の育成支援の推進</li> </ul>
C	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○秋田の成長を牽引する企業の育成と成長分野への新たな事業展開</li> <li>○秋田の産業を支える人材の育成</li> <li>○高等教育の充実と地域貢献の促進</li> <li>○秋田への定着、移住・定住の拡大</li> <li>○子どもを産み・育てる環境の充実強化</li> </ul>
D	0	
計	42	

評価結果区分

A：目標を達成

B：目標を8割以上達成

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

(2) 評価の概要 (評価結果別)

評価結果	評価の概要
A	<p>○「新エネルギー立県秋田」の創造と環境・リサイクル産業の拠点化については、「風力発電設備導入量」が目標を上回り、単年度では平成28年度まで3年連続で全国1位(累積では2位)となっており、導入拡大に伴うメンテナンスを始めとする関連業務への参入等を目指す県内企業が見られるようになった。また、「環境・リサイクル関連対象企業の製造品出荷額等」では、工場の新増設と雇用等への支援等により、目標を達成していることなどから、「A」と評価。</p> <p>○その他の施策も、目標の達成や取組の状況等により「A」と評価。</p>
B	<p>○「“オール秋田”で取り組むブランド農業の拡大」では、「主な園芸作物の販売額」が、生産・販売対策の集中的な実施と園芸メガ団地の整備を進め、目標には及ばなかったものの、着実に増加を続けている。また、「黒毛和牛の出荷額」は、全国的な繁殖雌牛の減少による肥育素牛不足が続き、牛枝肉価格が高値で推移したものの、出荷頭数が減少したことから、目標にはわずかに及ばなかったが、着実に増加を続けていることなどから、「B」と評価。</p> <p>○その他の施策も、目標の達成や取組の状況等により「B」と評価。</p>
C	<p>○「子どもを産み・育てる環境の充実強化」については、福祉医療費・保育料の負担に対する全国トップクラスの支援、子育てサポーターの養成や子育て支援センターの設置・運営、仕事と育児・家庭の両立支援に係る啓発等の各種事業を展開し、「合計特殊出生率」は改善方向にあるものの、目標にはわずかに及ばず、また、「出生数」についても目標には及ばなかったことに加え、出生率が全国最下位であったことなどから、「C」と評価。</p> <p>○その他の施策も、目標の達成率の低さや過年度実績の推移等により「C」と評価。</p>

### 3 事業評価

- (1) **中間評価** (対象：継続事業)      (2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (今後の推進方向)	件数
継続	218
改善して継続	32
見直し	0
休廃止	0
終了	46
計	296

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	0
概ね妥当である	10
妥当性が低い	0
計	10

### 4 公共事業箇所評価

- (1) **中間評価** (対象：継続事業)      (2) **事後評価** (対象：終了事業)

※公共事業箇所評価のスケジュールについては、中間評価において費用対効果の算定に一定の時間が必要なほか、事後評価においても評価に不可欠な住民等へのアンケート調査に係る集計・分析作業等に所要の期間を要することから、従前どおり、年内を目途に行う。なお、報告については来年度となる。

## 5 研究課題評価

(1) **中間評価** (対象：継続課題) (2) **事後評価** (対象：終了課題)

評価結果 (進捗状況)	件数
計画より大きな成果	1
計画より成果	12
計画どおり	18
努力が必要	0
継続意義は低い	0
計	31

評価結果 (研究成果)	件数
見込みを上回る	1
見込みをやや上回る	1
見込みどおり	8
見込みをやや下回る	0
見込みを下回る	0
計	10

## Ⅲ 教育委員会が行った政策等の評価の実施状況等 (概要)

### 1 施策評価

(1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	施策
A	2	○確かな学力の定着と独創性や表現力の育成 ○生涯学習を行動に結び付ける環境と芸術・文化に親しむ機会づくり
B	3	○自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成 ○豊かな心と健やかな体の育成 ○良好で魅力ある学びの場づくり
C	0	
D	0	
計	5	

評価結果区分

A：目標を達成

B：目標を8割以上達成

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

(2) 評価の概要 (評価結果別)

評価結果	評価の概要
A	○「確かな学力の定着と独創性や表現力の育成」は、代表指標の「県学習状況調査における通過割合（正答率が設定正答率以上の問題数の割合）」が目標を達成しているほか、関連指標の「中学3年生の英検3級以上取得率」は採点方法等の変更もあり目標を下回ったものの、全国2位と依然として高く、高校3年生の準2級以上の取得率も全国3位と伸長してきていることなどから、「A」と評価。 ○その他の施策も、目標の達成や取組の状況等により「A」と評価。
B	○「自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成」では、代表指標の「高校生の県内就職率」が、県内求人状況が好調であること、各校の教員や就職支援員、キャリアアドバイザーによる県内就職を促進する指導等の取組により、前年度を上回ったものの、目標には及ばなかった。また、関連指標の「高校生（公立）のインターンシップ参加率」も目標にわずかに及ばなかったものの、増加を続けていることなどから、「B」と評価。 ○その他の施策も、目標の達成や取組の状況等により「B」と評価。

## 2 事業評価

(1) **中間評価** (対象：継続事業) (2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (今後の推進方向)	件数
継続	18
改善して継続	10
見直し	0
休廃止	0
終了	6
計	34

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	0
概ね妥当である	1
妥当性が低い	0
計	1

## IV 公安委員会及び警察本部長が行った政策等の評価の実施状況等 (概要)

### 1 政策評価

(対象：「平成28年秋田県警察運営の基本方針と重点目標」における重点目標のうちの4項目)

#### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	政策
A	3	○犯罪の起きにくい社会づくりの推進 ○少年非行防止・保護総合対策の推進 ○被害者支援の推進
B	1	○交通死亡事故の抑止
C	0	
D	0	
計	4	

評価結果区分

A：目標を達成

B：目標を8割以上達成

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

#### (2) 評価の概要

評価結果	評価の概要
A	○「犯罪の起きにくい社会づくりの推進」については、秋田県地域安全ネットワークを活用した情報発信活動や地域住民の要望把握活動、地域安全活動に対する支援等の実施、また、それぞれの地域における犯罪情勢の的確な分析に基づく犯罪の抑止対策、街頭キャンペーン等の広報啓発活動により、刑法犯認知件数が15年連続で減少し、検挙率も10年連続で50%を超え、全国トップクラスを維持するなどしており、「A」と評価。 ○その他の項目についても、実績や取組状況から「A」と評価。
B	○「交通死亡事故の抑止」については、高齢者安全・安心アドバイザー、警察官及び関係機関等の職員が高齢者宅を戸別訪問しての交通安全指導や、きめ細かな高齢者向け交通安全教育活動を実施した。また、交通指導取締りでは、悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反に重点を置いて実施したものの、「交通事故高齢死傷者数の減少」は目標を達成できなかったことなどから、「B」と評価。



## 2 施策評価

### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	主な施策
着実に推進	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進</li> <li>○「秋田県地域安全ネットワーク」の活性化及びこれを基盤とした社会の規範意識の向上と絆づくりの推進</li> <li>○高齢者対策を最重点とする総合的な交通事故防止対策の推進</li> <li>○交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進</li> <li>○安全で快適な交通環境の整備</li> <li>○非行少年を生まない社会づくりの推進</li> <li>○被害者の視点に立った警察活動の推進</li> </ul>
改善を図りながら推進	0	
見直しが必要	0	
計	7	

### (2) 評価の概要

評価結果	評価の概要
着実に推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進」については、地域の犯罪情勢を分析し、自主防犯団体との連携・協働により、実態に即した無施錠対策、子供見守り活動等の各種犯罪抑止活動を推進した結果、刑法犯認知件数の減少と高水準な刑法犯検挙率を維持できていることから、「着実に推進」と評価。</li> <li>○その他の施策についても、取組状況や施策の効果により「着実に推進」と評価。</li> </ul>

## 3 事業評価

(1) **中間評価** (対象：継続事業)

(2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (対応方針)	件数
現状維持で継続	11
見直して継続	0
休廃止	0
計	11

※今年度は対象事業なし